

2005年9月1日プレスリリース
山口情報芸術センター (YCAM) Presents

Saburo Teshigawara + KARAS

ボーンズ・イン・ページズ

Bones in Pages

勅使川原三郎



Photo: Bengt Wanselius

山口情報芸術センター

2005年9月24日(土)、25日(日)

主催：財団法人山口市文化振興財団、毎日新聞社

助成：財団法人地域創造

後援：TYS テレビ山口

企画制作：KARAS、山口情報芸術センター

Bones in Pages

身体があり、ページがあり、その間には空気がある。

空気はとても新しく、とても古い物質、その中に生きつづけるもの。

インスタレーションには、本、靴、それに他の物体。ものは空気に溶けこんでいる。
無数の、目に見えない凝視の糸。溶けこんでいる沢山の生命。

あなたは溶けこんでいる骨だ。あなたは呼吸する。本はページの中で呼吸する。
あなたが本を読む時 本は動く体となる。あなたの骨は空気の中で踊っている。
本はあなたが呼吸をしながらページを開く時、解き放たれる。ページの中に骨。
ページは生きています。

勅使川原三郎

山口情報芸術センターでは、9月24日(土)、25日(日)の2日間に渡って勅使川原三郎の「Bones in Pages」を行います。勅使川原三郎は、この20年間常に世界のダンス界の先端で活躍している、真に日本を代表するダンサー／振付家です。その高い芸術性と技術は多大な尊敬と賛辞を受けています。

この作品「Bones in Pages」は、1991年にフランクフルトで製作、初演され、その後、ヨーロッパを初め様々な都市を巡り大きな反響を持って迎えられました。そして10年余りの月日を経て再構成され、世界中をツアーで回り、大変好評を得ています。今回日本では、横浜、松本、山口の3会場で上演され、西日本では山口情報芸術センターのみになります。

おびただしい数の書物、靴、ガラス、切断された机や椅子、そして烏…。異質に見えるそれぞれの要素で構成される空間いっぱいに、12年もの時を積み重ねてきた勅使川原三郎の世界が広がります。

Bones in Pages (改訂版) 近年の公演歴

2003 Théâtre de Caen (フランス)

Festival d'Automne à Paris ; Maison des Arts de Créteil (フランス)

Dansens Hus in Stokholm (スウェーデン)

2004 La Fillature in Mulhouse (フランス)

Juli Dance in Amsterdam ; Stadsschouwburg Amsterdam (オランダ)

International Contemporary Dance Festival Alter Danze in Venezia ;

Palafenice Isola Nuova del Tronchetto (イタリア)

Cankarjev Dom in Ljubljana (スロベニア)

House of Contemporary Arts in Budapest (ハンガリー)

Dance Umbrella in London ; Queen Elizabeth Hall-South Bank Centre (イギリス)

プロフィール

勅使川原三郎 Saburo TESHIGAWARA

勅使川原三郎はクラシックバレエを学んだ後、'81年より独自の創作活動を開始。既存のダンスの枠組みではとらえられない新しい表現を追及。'85年には宮田佳と共にKARASを結成し、グループワークを始める。以後現在に至るまで、国内での公演の他、毎年、欧米各国の招きにより多数の海外公演を行なっている。ソロ公演、KARASとのグループワークの他、振付家としても活躍。フランクフルトバレエ団、NDTや、'03年にはパリオペラ座バレエ団に日本人の振付家として初めて作品を依頼されるなど現代のダンス界において国際的、先駆的活動を続けている。

振付のみならず、その類まれな造形感覚を持って舞台作品の舞台装置・照明デザイン、衣装、音楽構成も手がける。

造形美術家としても、日本、ドイツ、フランス、オーストリアでインスタレーション作品が紹介され、'93年、'94年には映像作品（「T-CITY」('93)、「KESHIOKO」('93)、「N-EVER PARA-DICE」('94)）を製作、今なおヨーロッパのフィルム・ダンス・フェスティバルから参加依頼があいついでいる。近年の映像作品「Flower Eyes」('01)、「Perspective Study」('04)は勅使川原の絶えない実験精神の一端をみせている。現在イギリスのICA、New Art Gallery Walsallと共同で新しい映像作品製作が進行中である。

またダンス教育に関しても独自の理念をもち、KARAS創設以前より常に継続してワークショップを行なっている。東京のKARAS STUDIOにてワークショップを継続中の他、'95年にはロンドンで1年間に及ぶ若者のための教育プロジェクトS.T.E.P. (Saburo Teshigawara Education Project) を設立するなど、国内外でのワークショップを通じて若手ダンサーの育成に力を注いでいる。'04年には「ローレックス メンター&プロトジェ アートプログラム」のメンター（指導者）を委託され1年に渡り若手芸術家育成支援事業に関わる。www.rolexmentorprotege.com さらに2006年度より立教大学現代心理学部映像身体学科の教授に就任し、新世代の若者との教育をとおした創造活動に熱い意欲を注いでいる。

他にも執筆活動も行なうなど、芸術表現の新たな局面を切り開くアーティストとして国際的な注目を集めている。

2004年5月にはルール（フランス）で新作「KKAZAHANA」を発表、今年2月に新国立劇場で改訂版を上演。また今年4月に最新作「Scream and Whisper」をローマで初演した。両作品とも現在、世界ツアーが決定している。

宮田 佳 Kei MIYATA

勅使川原三郎からダンスを学び、新しいダンスヴォキャブラリーを共に創り出した。これまで勅使川原の初期の作品からKARASの全作品に出演。また主演作に「サラセン」「ボタンの心得」「夜誦-Night Songs」がある。98年初演の勅使川原ソロ作品「Absolute Zero」の勅使川原とのデュエットでは“息を呑むほど美しく傑出したダンス史上最高の瞬間を創造した（ドイツDie Welt紙評）”と絶賛される。神秘的でその純粋なダンス・スタイルは類がない。バイエルン国立バレエ団での「春の祭典」、パリ・オペラ座バレエ団での新作「AIR」では衣裳を、ネザールランド・ダンス・シアター。での「Modulation」では衣裳と選曲も担当。全ての創作に芸術監督補として関わり、欧米の劇場・フェスティバルと共同制作を指揮する。

さらにミュージシャン／アーティストとのコラボレーションなどを企画・製作、英国Charmレーベルより英独のミュージシャンによるコンピレーションCD「Absolute Zero」をリリースした。また1985年にKARASを設立以来、国内外の制作、マネジメントとともに全創作において勅使川原のアーティストック・コラボレーターとして活躍。KARAS UKを拠点とし、パリ、ベルリンオフィスを統括している。

佐東利穂子 Rihoko SATO

15歳までイギリスとアメリカで育ち、ジムナスティックを学ぶ。帰国後ダンスを始め、1995年からKARASワークショップに参加。96年KARASメンバーとなり、以降「Iwas Real-Documents」「Light Behind Light」「Raj Packet-everything but Ravi」「Green (Raj Packet「改題)」「Luminous」「Bones in Pages」「KAZAHANA」など勅使川原の振付作品のほとんどに出演。今年4月に発表した勅使川原三郎最新作「Scream and Whisper」でのダンスに対し、7月にカンヌで行われたアワード「L'Etoile de Ballet 2000,2005」を受賞したばかりである。また、オペラ「Turandot」の演出助手、「春の祭典」(バイエルン国立バレエ団)、「Para-dice」(ジュネーブ・バレエ)、「Modulation」(NDT。)、「AIR」(パリ・オペラ座バレエ)ではダンス・ミストレスをつとめた。また勅使川原の英国での教育プロジェクト「S.T.E.P. (Saburo Teshigawara Education Project)」でワークショップを行うなど、青少年のダンス教育にも積極的に取り組んでいる。

概要

公演名：**Bones in Pages** (ボーンズ・イン・ページズ)

振付・インスタレーション：勅使川原三郎

照明・衣裳デザイン：勅使川原三郎

選曲・音楽構成：勅使川原三郎、宮田佳

出演：勅使川原三郎、宮田佳、佐東利穂子

照明・技術コーディネイト：セルジオ・ペッサーニャ

舞台監督：ヨルン・フェンスケ

音響：ニール・グリフィス

日時：2005年9月24日(土) 19:00開演 (18:30開場) ※公演終了後アフタートークあり。
9月25日(日) 15:00開演 (14:30開場)

会場：山口情報芸術センター スタジオA

料金：全席指定 A席 一般4,000円 any会員/特別割引3,000円
B席 1,500円 (学生対象 ※学生証を提示下さい。)

チケット情報：山口市文化振興財団チケットインフォメーション：
TEL.083-920-6111 (10:00～19:00 火曜休館・祝日の場合は翌日)
ローソンチケット：TEL.0570-063-006 Lコード：67653

主催：財団法人山口市文化振興財団、毎日新聞社

助成：財団法人地域創造

後援：TYS テレビ山口

企画制作：KARAS、山口情報芸術センター

- ・特別割引について
特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。
山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。
- ・託児サービス
対象：6ヶ月以上 託児時間：開演の30分前から終演後30分後まで
料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円
申込方法：9月15日までにチケットインフォメーション(TEL:083-920-6111)までお申し込みください。

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

■山口宇部空港から

- ・乗合タクシーでYCAMまで 約1時間(1500円) ※前日18:00までに予約が必要 大隅タクシー0120-31-0860
- ・空港連絡バスでJR新山口駅まで 30分(870円)

■JR 新山口駅から

- ・JR 山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分/タクシー5分
- ・JR 山口線山口駅下車、徒歩20分/バス10分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5分
- ・防長バス25分、中園町下車

■自動車利用

- ・山陽自動車道で防府東ICから30分 ・九州・中国自動車道で小郡ICから15分

お問い合わせ：山口情報芸術センター

企画担当：岸正人、四元朝子 広報担当：小滝友見子

〒755-0075 山口市中園町7-7 TEL. 083-901-2222 FAX. 083-901-2216

mail. information@ycam.jp <http://www.ycam.jp>